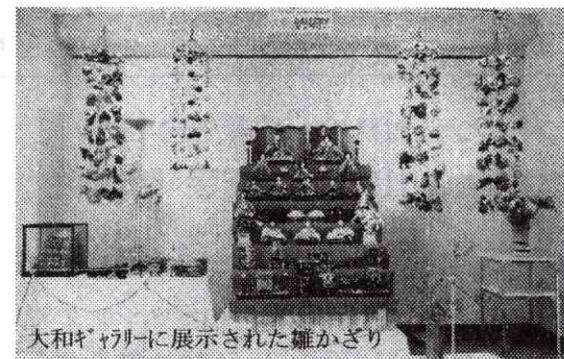


# みんなの大和

平成25年(2013) 3月15日号 ニュース

発行／中野区大和区民活動センター運営委員会 編集協力／みんなの大和ニュース編集会議  
中野区大和町2-44-6 電話(3339)6125 FAX(3339)6126  
E-mail nakano\_yamato@coast.ocn.ne.jp HP <http://nakano-yamato.gr.jp/>



大和ギャラリーに展示された確かにざり

# 大和の「公園」物語



大和地域は以前から人口密集地です。当時子どもたちはどこで遊んでいたのでしょうか。いまは啓明公園になつてある当時の「平和生命寮跡地」（約三百坪）は格好の遊び場でした。暫くは平和生命から貸してもらいましたが会社は社員寮を建てる決定をしました。啓明小PTAのおかあさん達は跡地を区が公園用地として買って欲しいという陳情を区へ、また会社と

大和地域には、現在11の公園と防災広場がひとつあります。西大和児童公園が昭和26年誕生し、みはと公園(昭和40年)・大和公園(昭和42年)、それ以降、順次開園しました。公園にはそれぞれに歴史・由来があります。公園は、生活に密着し、地域の皆さんのが「遊び場」「憩いの場」「活動スペース」ですが、その生き立ちに思いを馳せてみるととそこには、知られざる意外な「物語」が息づいています。

て空き地を公園にとの運動から足掛け6年かけてやつと啓明公園が昭和49年に誕生しました。

キヤツチボールの出来る広場を啓明公園が出来てよかつたのですが、子供たちは成長します。「ここではボールが投げられない」と子供達が言います。お母さんたちは「安心してキヤツチボールが出来る広場」を合言葉に地域の空き地さがしを始めました。そして「大和町に広場を求める会」ができ、地主さんと相談し、また区ともかけあいました。「ボールの投げられる広場が欲しい」と叫び始めてから4年たち、大和児童館の隣に、

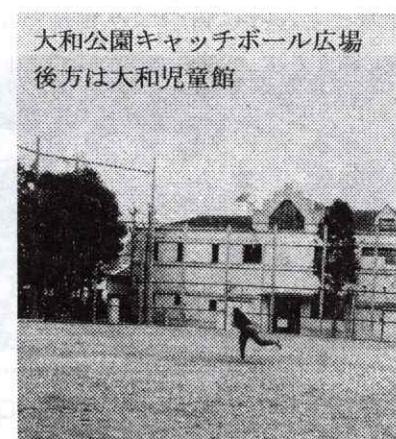


やつと出来る事に決まり、大和公園の拡張でいまの「キャッチボール広場」ができました。

大和鹿鳴公園はお屋敷跡が公園になりました。屋敷庭には明治初期の「鹿鳴館時代」といわれた鹿鳴館の礎石が使用されていました。公園造成にあたつてもその石を利用し名称も鹿鳴公園と名付けられました。



もみの木公園は野方にあるのになぜ大和地域の公園としているのでしょうか。ここは大和町東町会の地域なのです。昭和40年頃の住居表示の大改正までは大和町の一部だったのです。公園にもいろいろ歴史があるのですね。



「大和朗読の会」  
を主宰する

船山美佐子さん

(大和町4丁目住)

す  
だ  
紙  
の  
う  
そ  
く  
わ  
ん  
細  
腕  
さ  
ん

⑧

大和朗読の会で制作している大きな紙芝居について船山さんは、次のようにおっしゃっています。大きい、大きいといつても色々ですが私たちのいう「大きな紙芝居」は畳の半分位あり、紙芝居1組は12場面から16場面。使い易く耐久性も要求されますから、裏打ちも必要。仲間がいなければ出来ません。先ずは気に入った話を選び、鉛筆で下絵を描き、色を塗る。会員総出で1日がかり、色塗りが終わって乾いたら裏打ち、これも1日がかり、雨だと乾きが遅いこと遅いこと。こんな手間暇を掛け作り続けて20余年、37組を制作。最初の頃よりははるかに速くきれいになつたと自負している。「大きな紙芝居」の良いところは、沢山の人が見易いこと。また、紙芝居は画面が一定の時間目に留まるので強調したいイメージが理解され易く映画、テレビとは違った良さがあります。これからも良い話を選んで、さらに技術（制作も演じる事も）に磨きをかけねばね。とまますます張り切っています。

わって乾いたら裏打ち、これも1日がかり、雨だと乾きが遅いこと遅いこと。こんな手間暇を掛け作り続けて20余年、37組を制作。最初の頃よりははるかに速くきれいになつたと自負している。「大きな紙芝居」の良いところは、沢山の人が見易いこと。また、紙芝居は画面が一定の時間目に留まるので強調したいイメージが理解されやすく映画、テレビとは違った良さがあります。これからも良い話を選んで、さらに技術（制作も感じる事も）に磨きをかけねばね。とまますます張り切っています。

## 「大和朗読の会」 を主宰する

船山茉佐子さん

(太和町4丁目住)

大和の  
すこ腕さん細腕さん

